

2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月14日

上場会社名 株式会社リブセンス 上場取引所 東
 コード番号 6054 URL <https://www.livesense.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼執行役員 (氏名) 村上 太一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 (氏名) 桂 大介 (TEL) 03-6275-3330
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績 (2023年1月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	4,274	21.6	390	67.9	510	32.3	469	2.9
2022年12月期第3四半期	3,515	13.8	232	—	386	—	456	—

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 479百万円 (109.4%) 2022年12月期第3四半期 228百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	17.13	—
2022年12月期第3四半期	16.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	4,777	3,836	80.3
2022年12月期	4,468	3,356	75.1

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 3,836百万円 2022年12月期 3,356百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年12月期の連結業績予想 (2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,700	19.8	440	54.9	600	36.9	680	26.5	24.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期3Q	28,160,000株	2022年12月期	28,160,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	740,320株	2022年12月期	740,320株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期3Q	27,419,680株	2022年12月期3Q	27,419,680株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・ 将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・ 四半期決算補足説明資料の入手方法

四半期決算補足説明資料は、本決算短信と同時に開示しております。

また、当会社ウェブサイトにも掲載いたします。（URL <https://www.livesense.co.jp/ir/>）

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

【当期の業績に関する状況】

当第3四半期連結累計期間（2023年1月1日～2023年9月30日）の連結業績及び主要事業の売上高は、次のとおりです。なお、原則として業績の金額については累計期間、比較については前年同期比で記載しております。

(単位：千円、%)

	2022年12月期 第3四半期	2023年12月期 第3四半期	増減額	増減率
売上高	3,515,897	4,274,319	+758,422	+21.6
マッハバイト	2,135,404	2,819,286	+683,881	+32.0
転職会議	745,752	791,662	+45,910	+6.2
転職ドラフト	448,570	478,912	+30,341	+6.8
売上原価、販売費及び一般管理費	3,283,614	3,884,295	+600,681	+18.3
広告宣伝費	1,022,706	1,469,591	+446,884	+43.7
人件費	1,177,579	1,204,254	+26,675	+2.3
営業利益	232,283	390,023	+157,740	+67.9
(営業利益率)	(6.6%)	(9.1%)	-	-
経常利益	386,028	510,677	+124,649	+32.3
親会社株主に帰属する四半期純利益	456,530	469,581	+13,050	+2.9

○売上高

アルバイト求人サイト「マッハバイト」を中心に、転職口コミサイト「転職会議」、競争入札型転職サービス「転職ドラフト」を加えた主要3事業がそれぞれ成長し、増収となりました。

○営業利益

売上高の増加に伴い、大きく増益となりました。

「マッハバイト」において、主要顧客のアップセルに向けた先行投資として集客広告を拡大したことから、広告宣伝費は446,884千円増となりました。

○経常利益

2020年に行った新卒就活サービス「就活会議」譲渡に伴うライセンス収入を計上しております。本営業外収益は2025年12月期第2四半期まで計上される予定であります。

なお、当社グループの事業は単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

【当期の方針に関する状況】

当期テーマ：安定的な持続成長基盤の確立と新たな「あたりまえ」の創造に向けた投資強化

○既存ビジネスの強化による、持続成長基盤の確立

「マッハバイト」においては、主要顧客へのアップセルと新たな顧客群の開拓による事業規模の拡大に取り組んでおります。当第3四半期連結累計期間においては、先行投資として行った集客広告の拡大によって応募数が増加し、一部顧客においてはアップセルが実現するなど、戦略が進捗いたしました。また、来期以降の成長に向けた顧客開拓も進行しております。

「転職ドラフト」ではUX改善やキャンペーン等によって参加者数が増加しております。参加企業数も各回ごとに増加しておりますが、当第3四半期連結会計期間においては、一部の主要顧客にて採用方針の変更があった影響により、採用数及び売上高が減少いたしました。

○現在の事業を基礎にした、新たな収益源の創出

「転職会議」においては、転職を希望する会員に対し当社のコンシェルジュが企業を紹介する「転職会議コンシェル」の運用を開始いたしました。

「転職ドラフト」においては、専門のエージェントが求職者を支援する「転職ドラフトエージェント」サービス、不動産情報サービス「IESHIL（イエシル）」においては、中古不動産の買取再販事業の検証がそれぞれ進捗いたしました。

○新たな事業におけるPMF（注）の実現

紹介型マッチングサービス「knew」、面接最適化クラウド「batonn」の事業検証を行っております。

「knew」においては、新たなマッチングの形式を追加するなど、UXの改善が進捗いたしました。

「batonn」においては、ChatGPTのAIを活用した面接内容の要約機能への反響等により、利用企業数が増加し、活用事例の蓄積が進捗しております。

（注）PMF（プロダクトマーケットフィット）：サービスが特定の市場において、顧客から受け入れられている状態

【その他】

当社は2023年7月13日付けで開示しました「プライム市場の上場維持基準への適合に向けた計画に基づく進捗状況及びスタンダード市場への選択申請及び適合状況について」に記載のとおり、同日付けでスタンダード市場への選択申請を行い、2023年10月20日よりスタンダード市場に市場区分を変更しております。

これは、「流通株式時価総額基準達成の不確実性」「継続的な基準達成の不確実性」「経営資源の集中」の3点を踏まえ、株主の皆様が安心して当社株式を保有・売買できる環境を整え、事業成長に集中することが重要と判断したためであります。

その上で、将来的に改めてプライム市場上場を果たすべく、安定的・継続的にプライム市場の上場維持基準を充足する状態を保つことができるよう、企業価値を高め、株主・投資家の皆様からの信頼獲得に努めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、4,777,539千円となり、前連結会計年度末に比べ309,367千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の減少3,605千円、売掛金の増加192,247千円及び販売用不動産の増加99,613千円等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、941,179千円となり、前連結会計年度末に比べ170,143千円減少いたしました。これは主に、未払金の増加87,577千円、賞与引当金の減少73,350千円及び流動負債のその他の減少143,869千円等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、3,836,360千円となり、前連結会計年度末に比べ479,510千円増加いたしました。これは、利益剰余金の増加469,581千円及びその他有価証券評価差額金の増加9,929千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年2月13日に公表いたしました2023年12月期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、2023年11月9日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,560,051	3,556,445
売掛金	487,437	679,684
販売用不動産	25,168	124,781
その他	44,667	52,088
貸倒引当金	△474	△664
流動資産合計	4,116,849	4,412,336
固定資産		
有形固定資産	2,731	2,594
無形固定資産	—	6,888
投資その他の資産		
その他	349,450	356,030
貸倒引当金	△859	△311
投資その他の資産合計	348,591	355,719
固定資産合計	351,322	365,203
資産合計	4,468,172	4,777,539
負債の部		
流動負債		
未払金	279,539	367,116
未払法人税等	59,958	19,458
賞与引当金	112,984	39,633
その他	635,143	491,273
流動負債合計	1,087,625	917,482
固定負債		
資産除去債務	4,097	4,097
長期借入金	19,600	19,600
固定負債合計	23,697	23,697
負債合計	1,111,322	941,179
純資産の部		
株主資本		
資本金	237,219	237,219
資本剰余金	225,668	225,668
利益剰余金	2,980,950	3,450,531
自己株式	△206,887	△206,887
株主資本合計	3,236,951	3,706,532
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	119,898	129,828
その他の包括利益累計額合計	119,898	129,828
純資産合計	3,356,849	3,836,360
負債純資産合計	4,468,172	4,777,539

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	3,515,897	4,274,319
売上原価	563,388	698,809
売上総利益	2,952,509	3,575,509
販売費及び一般管理費	2,720,226	3,185,485
営業利益	232,283	390,023
営業外収益		
受取利息	27	34
補助金収入	1,890	3,000
違約金収入	4,945	—
株式譲渡に伴うライセンス収入	114,912	114,912
投資事業組合運用益	31,413	2,589
その他	781	281
営業外収益合計	153,970	120,816
営業外費用		
支払利息	224	163
営業外費用合計	224	163
経常利益	386,028	510,677
特別損失		
事業構造改善費用	13,310	—
特別損失合計	13,310	—
税金等調整前四半期純利益	372,717	510,677
法人税、住民税及び事業税	25,062	36,676
法人税等調整額	△108,876	4,420
法人税等合計	△83,813	41,096
四半期純利益	456,530	469,581
親会社株主に帰属する四半期純利益	456,530	469,581

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	456,530	469,581
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△227,591	9,929
その他の包括利益合計	△227,591	9,929
四半期包括利益	228,939	479,510
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	228,939	479,510

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表に与える影響はありません。